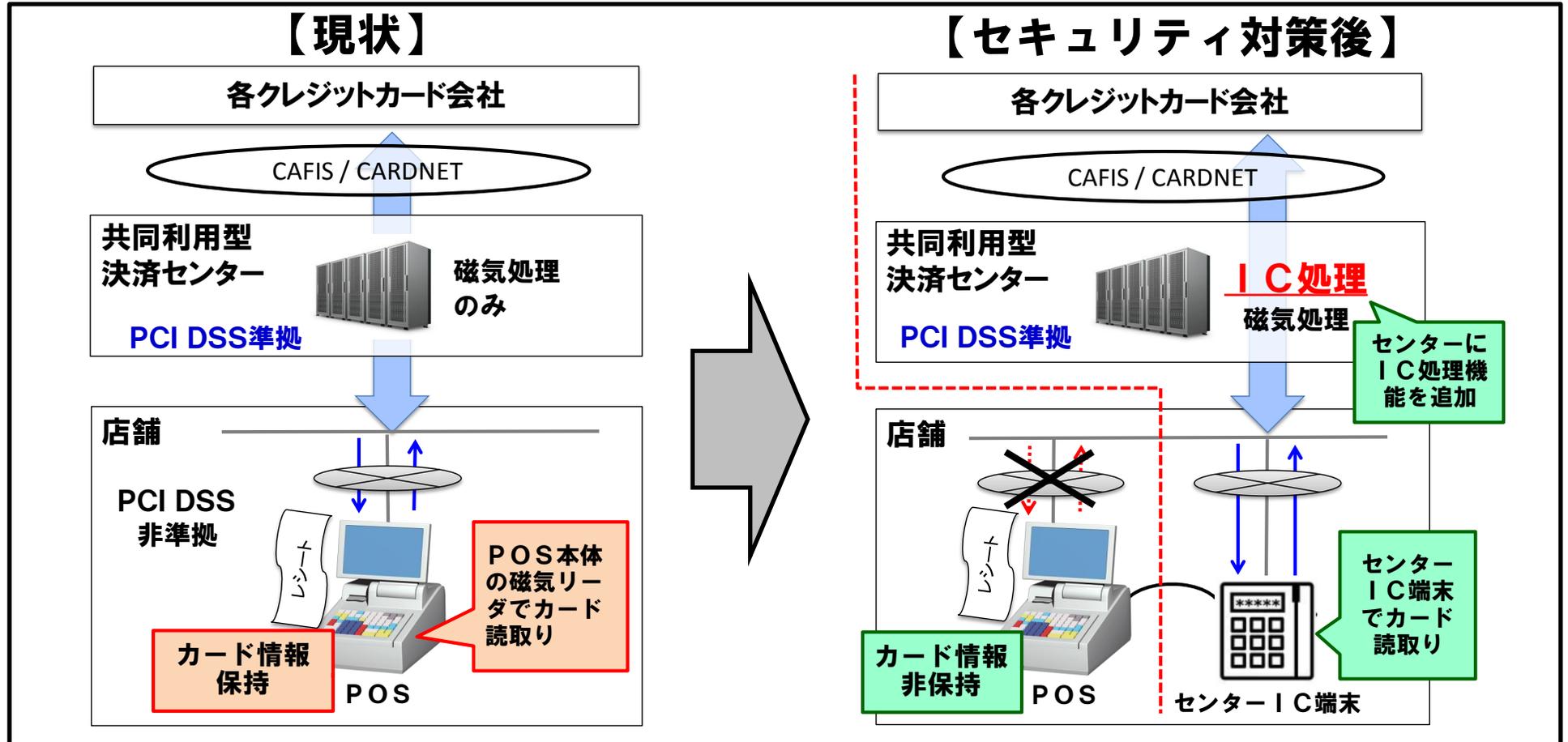


スーパーマーケット共同決済システム クレジットセキュリティ対策事業

平成28年12月

株式会社シジシージャパン
エス・ビー・システムズ株式会社

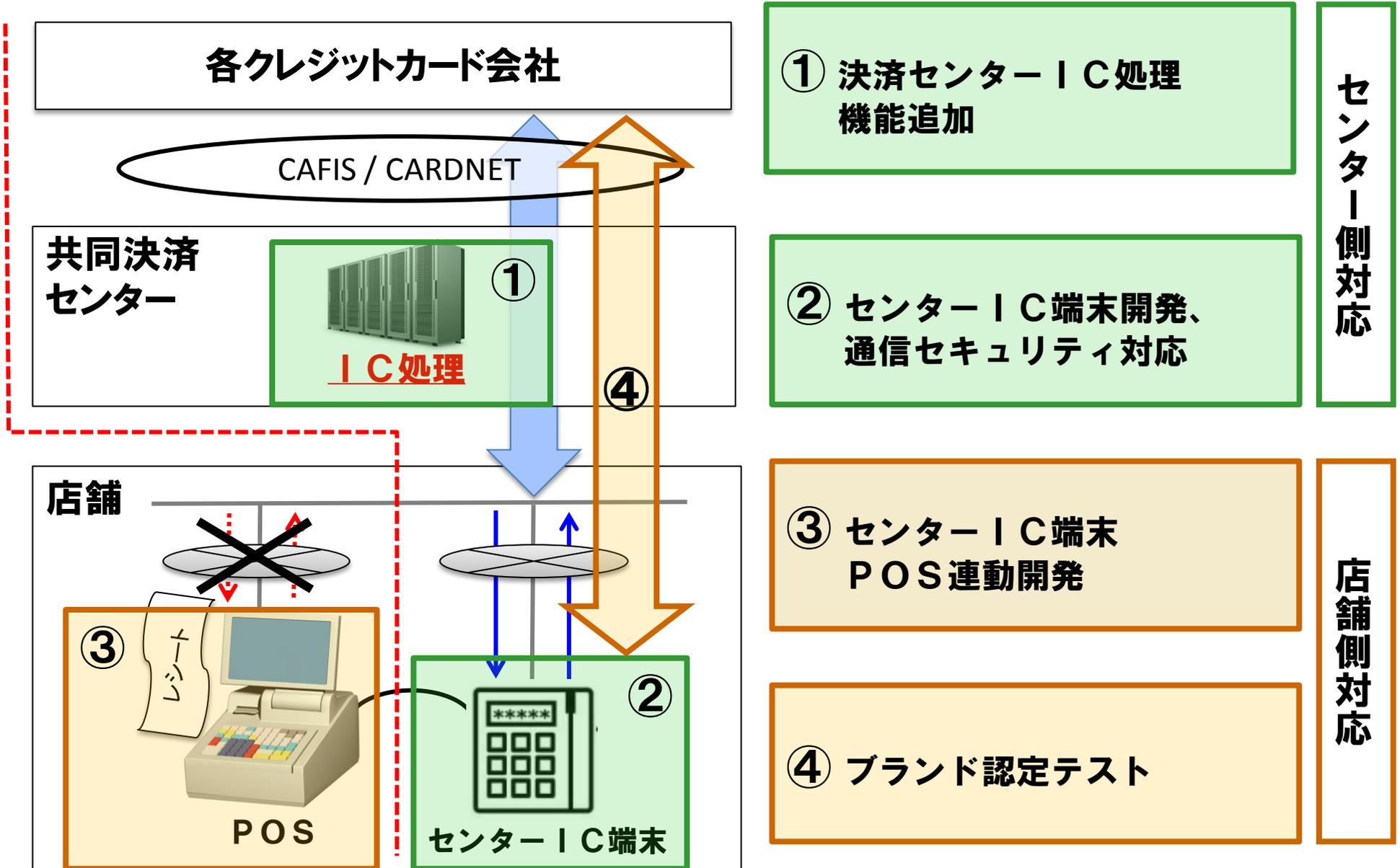
1. 業界内のセキュリティ対策の状況と 共同決済システムによるセキュリティ対策の推進



●現状：POS本体の磁気リーダーでカード読取、磁気処理。POS内にカード情報保持

●セキュリティ対策後：共同決済センターにIC処理機能追加
POS連動決済センターIC処理端末を開発、IC処理化を推進併せて、POSのカード情報非保持化を実現

2. 実施計画



3. 全体スケジュール

	項目	対応期間
①	決済センター I C 対応 改修	～ 2016 年 12 月末
②	センター I C 端末開発 通信セキュリティ対応	～ 2016 年 12 月末
③	センター I C 端末 POS 連動開発	～ 2017 年 1 月中旬
④	ブランド認定テスト	～ 2017 年 1 月末日
⑤	実証稼働	～ 2017 年 2 月末
⑥	普及・展開	～ 2020 年 3 月

4. 補助事業の提案概要

課 題	食品小売業界においては、各社個別のPOSシステム導入が進んでおり、これらの個別システムを各社でシステム改修し、ICクレジット対応、POSのクレジット情報非保持化対応を行うのは、対応人員不足やコスト負担など要因により導入に踏み切れない企業が多い
目 的	CGCグループでは、共同決済システムを構築済みであり、PCI DSSに準拠した安全なカード情報の運用を行っている。 共同利用センターのシステム改修により、クレジット決済IC処理化、POSシステムのクレジット情報非保持化を行うことで、利用企業に高いセキュリティ決済環境を提供する。 安全な決済環境構築の実現に寄与し、訪日外国人に安全・安心なクレジットカード利用環境を提供することにより、インバウンド需要の獲得にも寄与することを目的とする。
成果目標	共同決済システムの利用事業者が個別対応する際の期間と比して、12ヶ月程度の早期対応を実現する。また、個別対応する際の費用と比して80%程度のコスト低減化を実現する。
事業規模	参加事業者数 : 220社 端末数 : 15,000台